

## 別荘地の安全・安心は！？

先日、「ゲート管理の変更」と題する文書が高原クラブより配布されました。ゲートを通過する際に渡されたり、ポストに投函されたりしましたが、**全会員に行き渡ったものではないようです。**

そこでの問題点は次のようなものです。

1. ゲートの管理体制が22時までとなります。
2. 22時から翌6時までは第1ゲートに宿直員を配置し、緊急時の対応に当たりません。  
⇒それまでは、第1ゲートに2人、第2ゲートに1人の宿直員がいましたが、今後は第1ゲートに1人のみの体制になります。これで緊急時の対応ができるのでしょうか。
3. 警備会社（アルソック）の機械警備・24時間オートフォン対応（以下略）  
⇒深夜にゲート開閉用のカードを忘れた会員に対し、ゲートに設置した電話によりバーの開閉を行うそうです。しかし、電話をしてきた人が会員かどうかをどうやって判断するのでしょうか。

※ 深夜にも緊急車両の通行は決して少なくないでしょう。複数の救急車への対応が必要になる場合もあります。第1ゲートから遠く離れた地区もあります。

7月上旬には岡山・広島を中心とした大規模水害がありました。幸いにも当自然高原では大きな被害がなく済みましたが、過去には崖の崩落により道路が通行できなくなる事態は何度もありました。深夜にそういった自然災害にみまわれたら……。

※ 配布された文書には、「労働基準監督署より宿直管理体制について改善勧告を受け……」という文章がありますが、**夜間手当の不払いに対するもので、管理体制を薄くするのは無関係**であるはずで

※ 上記3の「機械警備」は管理事務所に対する防犯対策を講じるもので、ゲートの管理体制とは直接関係ないと思われます。

※ こういった管理体制の変更には、事前に住民・利用者に対する説明が必要であるはずですが、7月にあった社員総会でもまったく取り上げられませんでした。それがいきなり8月16日から実施されるとのことです。「住民不在」の施策も甚だしいと言わざるを得ず、当自治会では高原クラブに対して説明会の実施を求めています。

播磨自然高原クラブ  
代表理事 黒兼 正博 殿

ゲート管理変更についての説明会のお願い（ 要望書 ）

平成 30年 8月 18日

播磨自然高原自  
会長 岡庭 晋司



先般ゲート管理の運用方法が変更され突然実施されました。従来行われてきた夜間3名体制のガードマンの宿直が無くなり、22時から翌朝6時までは宿直員を配置して対応する。警備会社（アルソック）がオートホンで対応するなどが記載された「ゲート管理変更について（おしらせ）」が配布されましたが、一部地域や家庭には配達されておりません。また、内容につきましてもA4用紙1枚の表記名どおりのお知らせの域を超えるものではなく、高原クラブの謳い文句である「安心安全な別荘ライフ」がいかように守られるのか？夜間の急病人や火事などの対応方法は、どのようになるのか？高原クラブの社員及び会員に一切の説明がないまま急遽実施されました。

安心安全にタイムラグは禁忌です。速やかに「ゲート管理変更についての運用方法及び警備会社との役割分担」などの住民説明会を開催して頂きますよう求めます。

平成30年8月

播磨自然高原をご利用の皆様

## ゲート管理の変更について（お知らせ）

8月16日よりゲート管理を変更します。

### 【変更点】

1. ゲートの常駐管理が22時までとなります。
2. 22時から翌6時までの深夜は、第1ゲートに宿直員を配置し緊急時の対応を行います。
3. 警備会社（アルソック）の機械警備及び24時間オートフォン対応（第1ゲート、第2ゲートに専用電話を設置）を導入し、緊急時の案内対応などで保安警備を強化します。

パスカードを使用しての入退場はこれまでどおり24時間対応します。

### （変更の経緯）

6月に労働基準監督署から、ゲート部門の深夜の宿直勤務体制について改善勧告を受け、その改善対応を図るため管理体制見直しを行います。

見直しに当たっては、専門の警備会社に委託するなど、24時間管理体制の管理サービスの更なる向上を目指し、段階的に整備を進めます。